

# 関係人口の創出・拡大・深化に向けた 取組について



令和2年12月8日

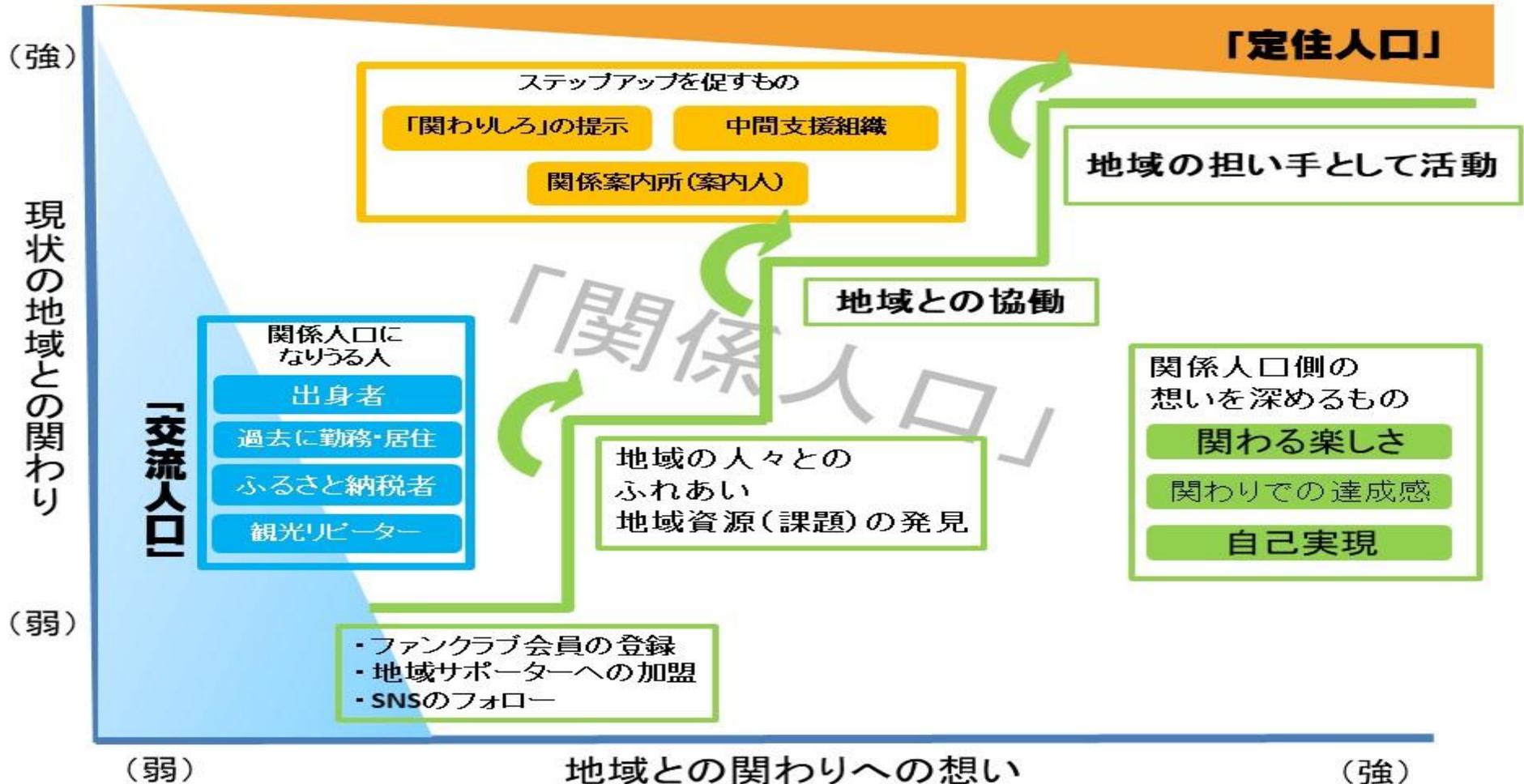
総務省 地域力創造グループ

地域自立応援課

# 関係人口のステップアップ

- 「**関係人口**」には地域との関わりや想いの強さに応じて様々な段階が存在
- 「**関係人口**」に**地域づくりの担い手**になってもらうためには、**ステップアップ**を促していくことが必要

## 関係人口のイメージ



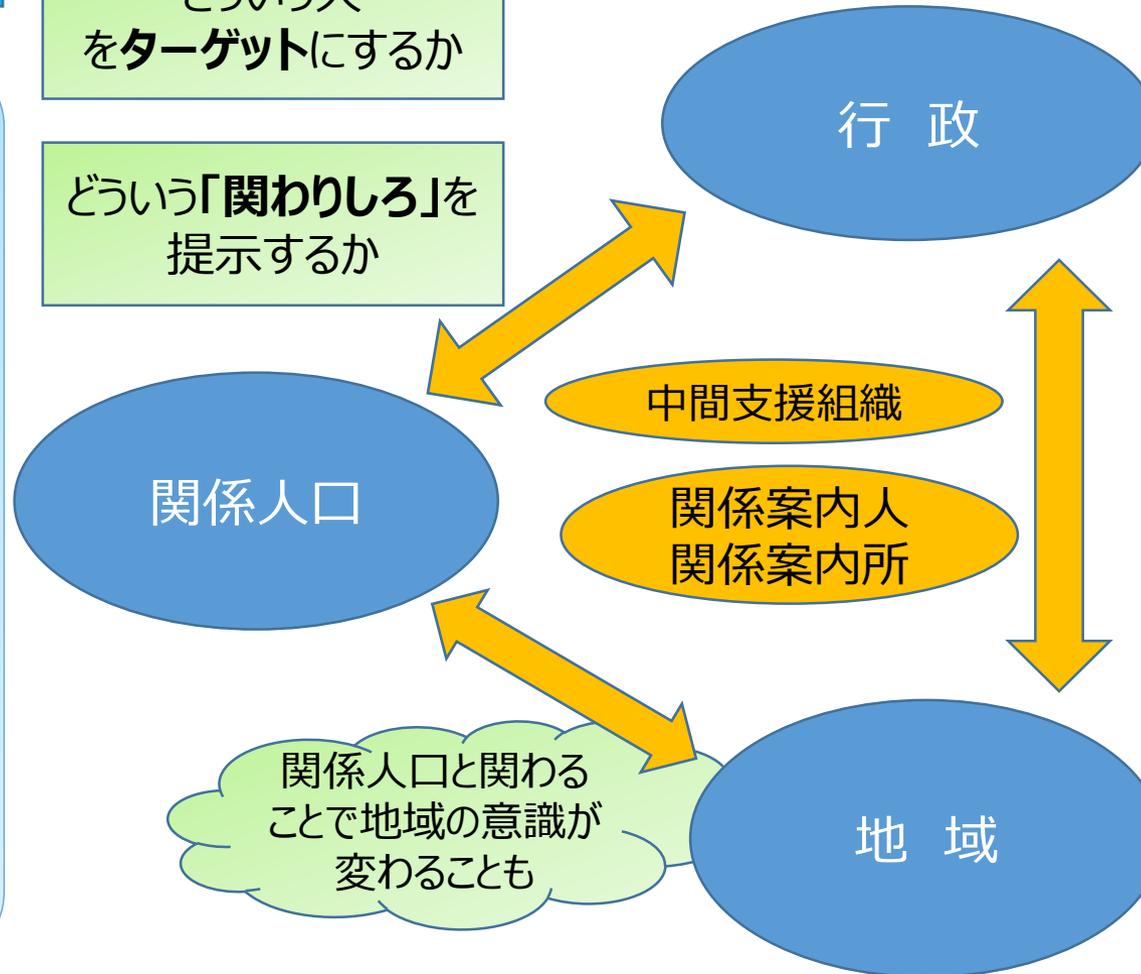
# 関係人口の取り組みで目指すべきものを実現するために

## 関係人口の候補

- 出身者
- 過去に勤務居住
- ふるさと納税者
- 観光リピーター
- 地域と関係する趣味を持つ人
- クリエーターなど
- 副業人材
- 地域振興に興味を持つ人
- 大都市の人
- 近隣の都市住民
- 若者
- 経験を有する人

どういう人をターゲットにするか

どういう「関わりしろ」を提示するか



関係人口と地域が協働して地域の活性化に取り組む

関係人口で目指すべき地域像は何か

地域の何に関わってもらうか

- 地域住民
- 農林漁業者
- 地場産業
- イベント、祭
- 空家、空店舗、遊休施設

## 1. 事業のビジョン・目標設定

<過去2年間の問題点>

- 「関係人口」の拡大が目的になってしまい、関係人口の参画により地域課題の解決に結びつけるためのビジョンや目標が不明確

### 教訓

- ◆ **地域側が、事業に取り組んだことにより、成果が得られるような、ビジョンや長期目標を設定すること**  
そのために、**関係人口を活用して解決したい地域課題やそのために必要な人材像を明確にすること**

## 2. 事業の遂行体制・役割分担（中間支援機能等の形成・運営）

<過去2年間の問題点>

- モデル事業の期間中は委託により体制が組めるが、モデル事業終了後の体制づくりができない
- 行政主導の取組となってしまう、地域の関わりが不十分

### 教訓

- ◆ **負担感の軽減、継続的取組のため、地域内外の関係団体、地域内コミュニティ・地域住民による、事業遂行体制（中間支援組織）を構築すること**
- ◆ **関係人口受入れを進める地域の協力体制を構築すること**
- ◆ **関係人口と地域を継続的につなげる関係案内所や関係案内人といえる体制を構築すること**

### 3. ターゲティング・募集方法

<過去2年間の問題点>

- 不特定多数に情報発信したことにより、想定したターゲット層の参加者割合が低かった
- 関係人口に想定したターゲット層と情報発信媒体のミスマッチが生じ、効果が出にくかった

#### 教訓

- ◆ 関係人口に担ってもらう地域課題や関係人口像を明確にすること
- ◆ 設定した関係人口に向けて適切なアプローチ方法（「関わりしろ」の提案）を検討すること
- ◆ テーマにマッチした人を募集することや既に何らかの関わりがある人にアプローチすることが有効

### 4. 継続的な体制づくり

<有識者からの助言>

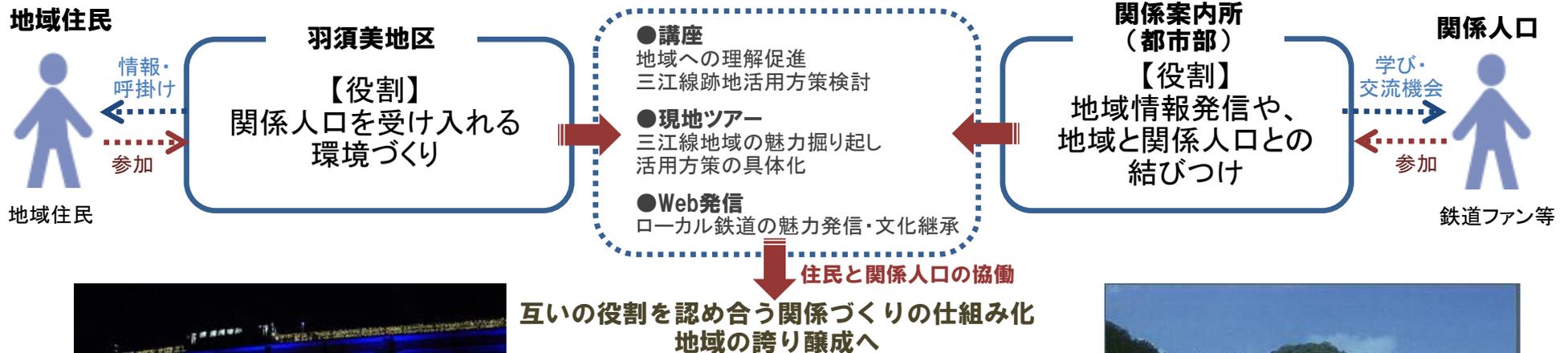
- 関係人口は、地域に深く向き合う取組であり、すぐに成果が表れるものではありません
- 関係人口は継続的に関わってくれることが約束されたものではありません。

#### 教訓（ポイント）

- ◆ 次年度以降も事業を継続するため、関係人口との双方向の情報交流や、関係人口が地域に関わる交流拠点の創出、地域人材の確保・育成、また、事業資金の確保を含めた受け入れ体制を確立することが重要→関係案内所（案内人）や中間支援組織
- ◆ 関係人口が、その地域と自発的に関わるメリットを意識しながら事業構築することが重要。メリットというと経済的側面を考えがちだが、関係人口にとって楽しいものであったり自己実現の場となることを考えながら事業構築することが必要
- ◆ コロナ禍を踏まえたオンライン・非接触型の取組が必要

# 参考（取組事例）

- 人口減少・高齢化が著しい邑南町羽須美地域で、地域資源である鉄道廃線跡を、関係人口の関与により地域再生の「交流装置」に転換し、地域外の人々と地域の持続可能性を高める。
- 鉄道ファンや中山間地域の地域づくりに興味のある人材を広く募り、都市部で講座を開催。平成30年に廃線となったJR三江線の跡地を活用した「レールパーク構想」やライトアップイベント(「INAKAイルミ」)に継続的に関わる人材を確保する。
- 鉄道ファンや地域の課題解決・地域資源の活用に興味があるコミュニティに働きかける「関係案内所」が、地域の情報発信や、地域と関係人口との結びつけなどの役割を果たすことで、継続的に関係人口を呼び込み、地域づくりに参加してもらう仕組みを構築する。



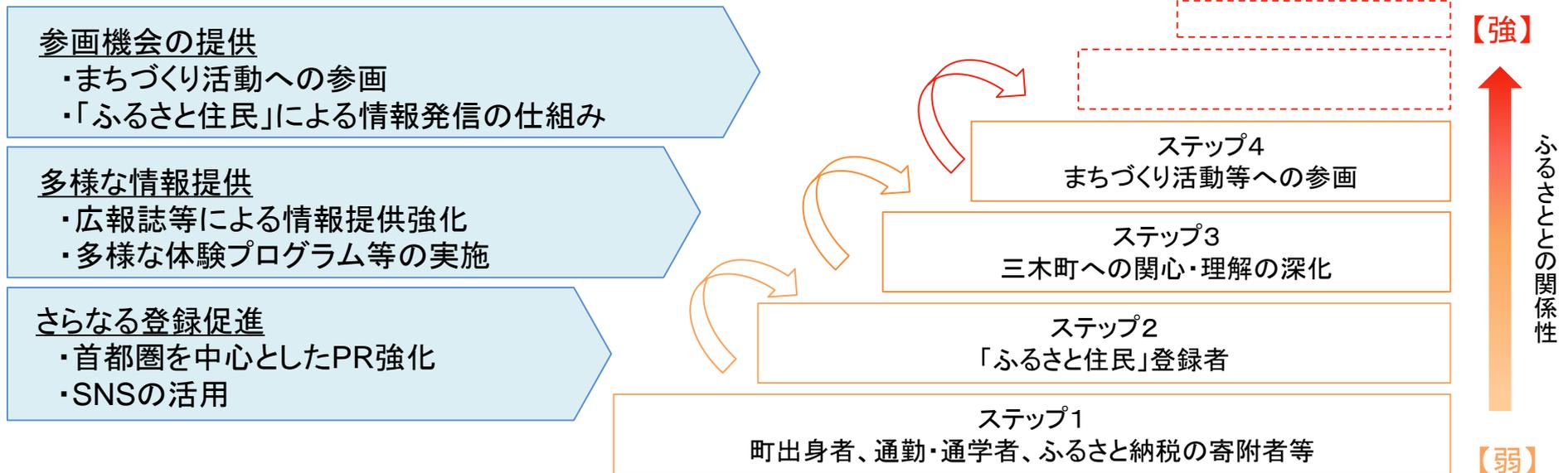
「INAKAイルミ」  
(JR三江線  
宇都井駅周辺)



羽須美地域  
の風景

- 町外に住む出身者や通勤・通学者、ふるさと納税の寄附者などに、「ふるさと住民」となってもらうことで、町への「想い」を持つ者との関係性を可視化する。(「ふるさと住民」登録者数:431人(H30.3.31時点))
- 「ふるさと住民」に対しては、現状、会報誌の送付等にとどまっていることから、
  - ・体験ツアーや首都圏でのワークショップなど、町に触れる機会の多様化
  - ・フットパス事業のコースづくりや、町の魅力の取材・発信などの地域づくり活動への参画などを通じて、段階に応じた、ふるさと(三木町)との関係性の深化を図る。
- 主に町職員の志願者で構成される「ふるさと住民票PT」が、「ふるさと住民」の情報分析や、関係深化の機会提供において中心的役割を担う。

【事業の概要】 関係の各段階に応じた様々な情報や機会の提供、働きかけの強化等により、現在の関係性の継続、さらに上の段階へと関係性の深化を図る



事業の  
背景・目的

地域課題

- ✓ 丸岡城周辺では商店街の空き店舗増加等、かつての賑わいが失速傾向
- ✓ 市民団体が丸岡城の魅力向上に取り組んでいるが、地域外からの視点が必要

関係人口に期待する役割

- ✓ 丸岡城とその周辺の魅力向上のために、継続的な寄附金を募るとともに、お城ファンの視点から、その寄附金の使い道のアイデアを募集し、実現を目指す

目標 (地域の理想の姿)

- ✓ 丸岡城への継続的な支援者「百口城主」の提案を取り入れた事業に、「百口城主」と市民がともに取り組み、丸岡城周辺の魅力が向上

取組の  
概要

「自動継続寄附サービス」の仕組みを活用して、全国のお城ファンをターゲットとして、丸岡城に関する事業への継続的な支援者「百口城主」を募集。「百口城主」は、市民も参加するワークショップを通じて、お城ファンならではの新しい視点から寄附金の使い道を提案。

坂井市

地域側の受入主体

- 坂井市役所 (総合政策部企画情報課、同シティセールス推進課)

協力者

- (一社) 丸岡城天守を国宝にする市民の会
- 福井県立丸岡高等学校 地域協働部
- 丸岡観光ボランティアガイド協会
- (株) トラストバンク

イベント実施スタッフワークショップに参加

募集・アプローチ

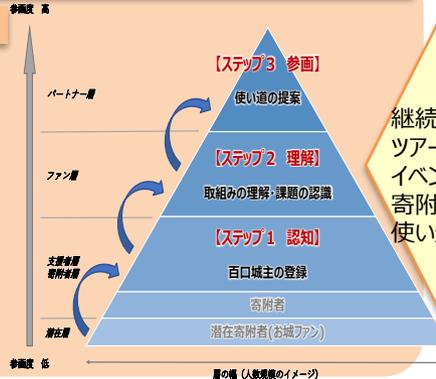
- ふるさと納税ポータルサイトへの掲載
- 「百口城主の集い」などイベントでのPR、チラシ配布、メルマガ
- ※実際の人物 (お城ファン) を元に、ペルソナを具体的に設定

つながり・関わりの仕組み (機会・場)

百口城主御成りツアー



「百口城主」7名と市民14名が参加し、丸岡城周辺の課題を探るツアーと、寄附金の使い道を提案するワークショップを実施



継続寄附、ツアーやイベント参加、寄附金の使い道の提案

主なターゲット

- 全国のお城ファン
- 坂井市への寄附者
- ✓ 寄附金の使い道で「丸岡城に関する事業」を選択した人
- ✓ 坂井市出身の都市部在住者

実際の参加者

<百口城主>  
• 36名が加入 (令和2年2月末時点)



主な成果

継続寄附による「百口城主」に36名が加入 (令和2年2月末時点)。寄附金の使い道のアイデアとして16件が提案され、そのうち丸岡城周辺のサイン整備、レンタサイクルの整備など5件のアイデアを市民代表、議会代表、市職員により構成される寄附市民参画基金検討委員会が採択。令和2年4月1日より寄附を募り、その実現を目指す。

事業の  
背景・目的

地域課題

- ✓ 人口減少と高齢化が急速に進行したことによる、産業や集落の維持のための担い手不足

関係人口に期待する役割

- ✓ 政策提案コンテスト提案者を「関係人口案内人」に育成
- ✓ 提案事業の実践活動を進め、町の活気や新しい事業を創造

目標（地域の理想の姿）

- ✓ (短期的) 卒業生が友人らと共に五ヶ瀬を訪れている
- ✓ (中長期的) 卒業生がUターンして複数の事業を展開している

取組の  
概要

町内の全寮制中高一貫校「五ヶ瀬中等教育学校」の在校生・卒業生を対象とした政策提案コンテストを開催。提案者はスタディツアー等により地域住民と交流しながら、地域資源を活かした伝統文化体験プランなどを提案。採択された6つのプランについて、提案者が関係案内人となる実践活動を展開。

五ヶ瀬町

地域側の受入主体

- 五ヶ瀬町
- NPO五ヶ瀬自然学校
- 五ヶ瀬中等教育学校
- 五ヶ瀬町教育委員会
- 地元企業

地域の参加者

- 地域住民
- 地域づくり団体

募集・アプローチ

- チラシやパンフレットを作成し関係機関を通じて配布

つながり・関わりの仕組み（機会・場）

政策提案コンテスト



地域住民、在校生の前で提案者がプレゼン  
審査により採択された提案が実践活動に移行

スタディツアー



座学、フィールドワーク、住民によるポスターセッション等を通じた政策提案のための事前勉強会

学び・交流・サポート

政策提案の立案・プレゼン

主なターゲット

- 五ヶ瀬中等教育学校の卒業生・在校生  
(全寮制のため、在校生のほとんどが町外出身)

実際の参加者

- <スタディツアー参加者>
- 五ヶ瀬中等教育学校の卒業生
  - ✓ 関西・熊本・米国在住の大学生4名
- <コンテスト提案者>
- 五ヶ瀬中等教育学校の卒業生
  - ✓ 関西・熊本在住の大学2年生2名
  - ✓ 五ヶ瀬中等教育学校の先生1名
- 五ヶ瀬中等教育学校の在校生
  - ✓ 4～5年生14名9チームが参加

主な成果

応募提案12案のうち6案が実践活動に移行し、新たな関係人口の創出に向けた取組を開始。提案されたプランの一つである「わらじプロジェクト」では、2月に関西圏・熊本市の大学生17名が参加し、わらじ編み体験やスキー・スノーボード体験、薪窯ピザづくり体験を通じた地域住民・在校生との交流を実現。

## 事業の 背景・目的

### 地域課題

- ✓ 人口減少のため、道路整備や清掃などの環境整備や、祭典や伝統行事などの文化事業といった地域活動の担い手が不足し、維持が困難

### 関係人口に期待する役割

- ✓ 人口減少によって不足している地域活動の担い手となり、地域住民の生活を維持・向上
- ✓ 村の魅力を村外に発信

### 目標(地域の理想の姿)

- ✓ 村民との協働により、地域活動に取り組み、地域の景観や安全、文化、伝統が守られ、地域住民の生活が維持・向上している状態を目指す

## 取組 の概要

地元で山村留学を運営する地元NPOと連携して、山村留学関係者などの、これまで泰阜村と関わりがあった者が登録・参加する「泰阜COHOs(やすおかコーホーズ)」を組織化。村民からの要望(困りごと)やイベント情報を継続的に配信し、登録者が担い手として来村・活動できる枠組みを構築。

### 泰阜村

#### 地域側の受入主体

- 泰阜村
- NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター(グリーンウッド)



#### 地域の参加者

- 地域住民

### 募集・アプローチ

- SNS、メール、グリーンウッドによる定期通信、直接の働きかけ
- 山村留学等でグリーンウッドに蓄積された顧客情報を活用

### つながり・関わりの仕組み(機会・場)

#### 住民による地域活動の場

- 地域住民から寄せられた、村のイベント情報や村の「困りごと」の情報を泰阜村が集約し、「泰阜COHOs」の登録者へ継続的に配信。
- 「泰阜COHOs」の登録者は情報提供を受けて、地域活動へ参加したり、村民のお手伝いをする。



困りごと、  
地域イベント  
情報の情報  
提供

地域イベント  
の実施、  
参加

地域活動の  
手伝い、  
イベント来場  
など

### 主なターゲット

- 泰阜村と関わりがあった人
- ✓ 山村留学等経験者やその保護者
- ✓ 村人会会員
- ✓ 緑のふるさと協力隊経験者

#### 実際の参加者

### <泰阜COHOs>

- 19名が加入(令和2年1月末時点)



## 主な成果

山村留学関係者、村人会会員、緑のふるさと協力隊経験者ら「泰阜COHOs」に登録した19名に対して、公式なイベント等を案内、今年度はその内1名が来村し、村民とともに正月飾りづくり等の地域活動を実施。別途、山村留学関係者には顧客情報管理システムを使いNPOから情報発信。構築した仕組みにより次年度以降も関係人口との協働を実施。

事業の  
背景・目的

地域課題

- ✓ ユニークな既存の「もったいない市場」と「もったいない図書館」のリデザイン
- ✓ 町民の新しい活動に対する消極性の打破

関係人口に期待する役割

- ✓ 既存の取組の評価、発展プランや新たな「もったいない」活用プラン等の提案
- ✓ 町民への刺激と自信、挑戦意欲の醸成へとつなげていく

目標 (地域の理想の姿)

- ✓ 「矢祭町 = もったいない」のイメージの確立、「もったいないブランド」を活用した農都交流の活性化
- ✓ 地元との継続的な関係性のきっかけづくり

取組の  
概要

豊富なスキルや経験を持つ首都圏の社会人が、「矢祭もったいないブランド」に資するプロジェクトを提案。その過程での町民との交流と、提案プロジェクトへの多くの町民の共鳴が、メンバーの継続的に関与する意欲を喚起。

矢祭町

地域側の受入主体

- 矢祭町
- 地元側メンター
  - ✓ 矢祭町特産品開発協議会
  - ✓ 矢祭もったいない図書館
  - ✓ 矢祭町農泊推進協議会



募集・アプローチ

- 東京の委託先 (募集・広報、活動の支援)
  - ✓ 外部Webへの掲載による告知
  - ✓ 東京での説明会 (地元側メンターも参加して対話)

つながり・関わりの仕組み (機会・場)



企画・運営、専門分野の助言、成果や課題の共有 など

プロジェクトの立案、プレゼン、住民への刺激 など

フィールドワーク

- 1泊2日、町民42名との交流

ワークショップ

- 東京で4回。メンターも参加してプラン検討

成果発表会

- 1泊2日、48名参加 (町民31名)

主なターゲット

- 首都圏在住の職業経験豊富な社会人
- ✓ 関連する分野や職種での知見・経験・ネットワーク等を活用するため

実際の参加者

- プロジェクトメンバー (9名)
  - ✓ コンサル、印刷、観光、建設、卸売、食品製造、広告、IT、フリーランス

主な成果

「農都交流の活性化」に向けた第一ステップを達成 (往来、遠隔、移住など、各メンバーが継続的な関わり方を選択)。関係人口となったプロジェクトメンバー9名が、町と共にプランの実現等を推進する「実現推進準備委員会(仮)」の設置を予定しており、一部プランは実現に向けた取組に着手。「自分も一緒にやりたい、手伝いたい」という町民意見が延べ40件。

## 事業の 背景・目的

### 地域課題

- ✓ 市内小売業が20年間で約半数に減少
- ✓ 中心市街地の商業・業務機能の衰退、遊休不動産の増大による空洞化

### 関係人口に期待する役割

- ✓ 中心市街地の空き店舗を活用して事業化する取組に、市民や地元の高校生と一緒に参加し、事業スタート後も継続的に関わってもらう

### 目標（地域の理想の姿）

- ✓ 中心市街地に賑わいを取り戻し、進学や就職を機に市外に出た高校卒業生が自分のまちに関心を持ち、いずれ地元に戻って来られるようにする

## 取組の 概要

遊休不動産の有効活用によりまちの再生手法を実践的に学ぶ「リノベーションスクール」を実施。受講者が市内の遊休不動産をリノベーションして活用する事業計画を作成し、実際の事業化に向けて不動産所有者へ提案。

### 館山市

#### 地域側の受入主体

- ・館山市
- ・館山リノベーションまちづくり実行委員会
- ・地域おこし協力隊
- ・NPO法人おせっ会

#### 地域の参加者

- ・地域住民(12名の受講生)
- ・遊休不動産の所有者

#### 地域外の協力者

- ・(株)リノベリング

### 募集・アプローチ

- ・ SNSでの広報
- ・ 起業・創業セミナーでの周知

募集

### つながり・関わりの仕組み（機会・場）

#### リノベーションスクール



受講  
不動産提供

知見提供  
コーディネート

市内の遊休不動産を対象に、市内外の受講生と講師が、実際の事業化を目指してリノベーション事業計画を作成し、不動産所有者へ提案

受講

### 主なターゲット

- ・ 起業・創業を希望する首都圏在住の若者
- ・ 起業を目指すUターン希望者
- ・ リノベーションまちづくりに興味がある人
- ・ 市内外の高校生

#### 実際の参加者

リノベーションスクール受講生18人  
(東京都5人、神奈川県2人、千葉県(市外)11人)

## 主な成果

30名の受講者により、廃材DIYに家族で取り組む拠点、野菜を売りにしたレストラン、高校生が集うオープンスペースの3つの不動産活用の事業計画を作成。事業実施後もリノベーションスクールの受講者同士でFacebookページを開設して情報交換を継続。

事業の  
背景・目的

地域課題

- ✓ 慢性的なマンパワー不足から、地域が疲弊
- ✓ 地域の中には存続が危ぶまれる集落もあり、地域浮揚策の推進・実施が課題

関係人口に期待する役割

- ✓ 冠嶽芸術文化村構想の実施主体「創発コミュニティ」の形成のための一員として、広く関係人口のスキルを活用

目標 (地域の理想の姿)

- ✓ 関係人口と地域住民からなる構想の実施主体「えんたく」を形成し、「えんたく」が自走できるよう収益事業の可能性を検討

取組の  
概要

中山間地域である生福・冠岳地区において、地元住民と関係人口が協働して地域づくりに取り組む創発コミュニティ組織「えんたく」を設立。同組織が主体となって、地域映画づくりのためのトークセッション、もみじ狩り散策ツアー、物産展への出展、フリーペーパー編集等を実施。

いちき串木野市

地域側の受入主体

【創発コミュニティ「えんたく」】

- いちき串木野市市役所職員
- BAGN (外部アドバイザー)
- メンター (元地域おこし協力隊)
- 地域住民



地域の参加者

- 地域住民

プログラムの  
企画・運営、  
コーディネート  
等

参加・  
協力

募集・アプローチ

- SNS、メール、HPを通じた呼びかけ、会報誌の発行、イベント等による幅広い呼びかけ

つながり・関わりの仕組み (機会・場)

トークセッション



映像作家を招き、映像を交えながら 8 ミリフィルムの価値と、市民参加の価値についてのトークセッション

物産展出店



地域物産展イベントに「えんたく」として出店 薬膳弁当の企画・販売、「えんたく」の活動紹介パネル展等を実施

知見・ノウハウ提供、  
地域住民への刺激・気づきの提供

主なターゲット

- 知識やスキルを地域振興に活かしたいと考える人
- 市外居住者や近隣地域の人々

実際の参加者

- トークセッション (地域映画) : 35名
- 冠岳もみじ狩り散策ツアー : 5名
- <事業の企画、実施を通じ提案地域と直接かかわった人>
- 薬膳料理家、デザイナー、イラストレーター、フォトグラファー、インスタグラマー、ミュージシャンなど 78名

主な成果

冠嶽芸術文化村構想の事業推進体として、**地域内外の人材が参画する13名からなる創発コミュニティ「えんたく」を設立**。ツアーや物産展出店によって一定の収入を獲得し、「えんたく」の今後の活動継続に必要な収入源の確保に一定の道筋をつけた。

- 宮古市・花巻市を舞台に、首都圏のビジネスパーソンと地元企業の「複業マッチング」を行い、“関係人口”を増やす試み。
- 「遠恋複業課」コンセプト:「関係人口」の人と地域との関係は、「遠距離恋愛」に似ていると思う。

地域課題

- ✓ 東日本大震災以降、全国の支援者・ボランティアと築いた交流関係の継続・発展
- ✓ 県内企業の人手不足・事業継承

関係人口の役割

- ✓ 「遠恋複業」を通じた地域企業への貢献
- ✓ 地域活性化・コミュニティ形成の担い手

目標

- ✓ 「遠恋複業」による新たなビジネスチャンスの創出 (新商品開発、販路開拓)

関係人口と地域とのつながり (イメージ)

地域とつながる活動・仕組み

「現地フィールドワーク」

- ✓ 地域を訪問し、複業先候補の地域企業・団体との交流・意見交換
- ✓ 宮古市・花巻市で各1回実施、各回5社を訪問

岩手県

全体管理

(一社) いわて圏

事業運営

(株) パソナJOBHUB

関係案内人育成支援

複業受入企業等を訪問



参加者募集 (説明会、Facebook、Peatix等)

地域企業発掘

【関係案内人】

(株) ぼうけん

【関係案内人】

NPO法人みやっこベース

地域金融機関

企画・事業協力等

花巻市

宮古市

地域おこし協力隊

現地フィールドワークで  
複業先とマッチング

「複業」に関心を持つ  
首都圏のビジネス  
パーソン

- 説明会51名参加
- 現地フィールドワーク12名参加



ターゲット

- ✓ 複業等を通じて地域貢献したいと考えている首都圏人材

募集の仕組み

- ✓ 複業人材募集説明会 (東京1回、51名参加)

<広報>

- ✓ Peatix等のWEBサービス活用
- ✓ キャッチコピー「遠恋複業課」



成果

- ✓ 7件の複業マッチングが成立 (そのほか8名マッチング検討中)
- ✓ 関係案内人の尽力により、複業に協力する地域企業・団体等10社を発掘

- 大学生と住民・行政の協働による新たな学生拠点づくり
- 大学生の熱意と地域の資源が、空き家改修を通じて今後の関係人口創出・拡大につながる！

地域課題

- ✓ 村の中心産業である林業※の低迷  
※村の約92%が森林
- ✓ 人口減少、少子高齢化

関係人口の役割

- ✓ 村の木材と空き家を活用した学生拠点づくり
- ✓ 住民との交流を通じた地域活性化

目標

- ✓ 空き家改修事業を通じた関係人口との交流拠点の創出
- ✓ 交流拠点を通じた村内外の人材交流の活発化

関係人口と地域とのつながり (イメージ)

地域とつながる活動・仕組み

「現地ツアー」

- ✓ 地域への理解・愛着醸成のための地域資源（自然/製材等）見学・体験や住民との交流
- ✓ 「地域にとって必要とされる場所」に関する学生ワークショップ開催

「空き家改修DIY」

- ✓ 建築事務所監修のもと内装図面作成
- ✓ 住民と大学生が協働しながら村の空き家の内装を解体、改修  
⇒村外学生拠点として活用

**下北山村役場**  
企画・管理・運営

**スカイウッド株式会社**  
製材現場見学受入

**空き家所有者**  
空き家無償貸与

**空き家改修DIY**



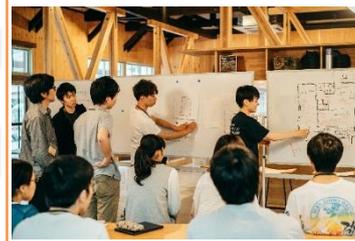
参加者募集 (むらコトアカデミー、既存ネットワーク)

参加学生募集  
村との調整  
学生団体「まとい」  
参加学生募集  
空き家改修DIY監修  
伊藤立平建築事務所

村の木材を活用した  
空き家改修

地域づくりに興味のある  
大学生

のべ38名の大学生が  
参加  
-関東、関西在住の、異なる大学所属の大学生が参加。



ターゲット

- ✓ 地域づくりに興味のある大学生

募集の仕組み

- ✓ 学生団体「まとい」※を通じた募集

※学生団体「まとい」  
「奈良・下北山むらコトアカデミー」卒業生の関東在住大学生を中心に設立した学生団体。

- ✓ 既存ネットワークであり、空き家改修DIYの監修者である伊藤立平建築事務所を通じた募集

成果

- ✓ 20名の目標を大きく上回る38名の学生が事業に参加。「空き家改修事業終了後も継続的に関わりを持ち、将来的には移住・定住も含めて考えていきたい」との思いを持つ方が存在
- ✓ 改修した空き家は、学生との関係を継続するための学生来村時拠点として活用。新たな学生の来村時も利用できるため、今後の関係人口拡大への活用も期待

- 首都圏企業のビジネスパーソン向けの「研修」を通じて、関係人口の創出や地域産業振興を図る。
- 地域の事業者の課題を、首都圏ビジネスパーソンの「企業研修」を通じて解決！！

地域課題

- ✓ 若年層の転入促進・転出防止
- ✓ 内需に依存しない新産業の育成
- ✓ 販路拡大・マーケティング・製品開発に向けた人材・ノウハウ不足

関係人口の役割

- ✓ 地域事業者に対する継続的なサポート
- ✓ 「研修事業」の横展開の担い手

目標

- ✓ 地域における新規ビジネス創出等
- ✓ 「研修事業」の民間企業による自走

関係人口と地域とのつながり (イメージ)

地域とつながる活動・仕組み

「地方創生研修」

- ✓ 首都圏企業から15名が参加。全5回で構成、最終回にプレゼンテーション実施
- ✓ 地域事業者 (3社) のニーズ (課題) に即したビジネスプランを作成
- ✓ PR動画制作により研修の価値を映像化



和歌山県

全体管理、  
地域主体との  
調整等

田辺市

知見の提供、  
地域データの  
収集・分析  
(たなべ未来創  
造塾)

地域事業者等との交流・  
ビジネス課題の解決



参加者募集 (関係案  
内人を通じた広報等)

「地方創生研修」等の運営

【関係案内人】  
(株) 日本能率協会  
マネジメントセンター

研修会の  
運営・実  
施等

(株) 南紀白浜  
エアポート  
(株) トური

「地方創生研修」への参加

首都圏企業のビジネ  
スパーソン

首都圏企業を中心と  
した14社・15名のビ  
ジネスパーソン



ターゲット

- ✓ 首都圏企業のビジネスパーソン (30~40代を想定)

募集の仕組み

- ✓ 関係案内人を通じた広報
- ✓ 説明会の実施 (5社参加、うち3社は「地方創生研修」へ参加)
- ✓ その他企業訪問による集客
  - 地域事業者の課題解決に向けた研修 (「地方創生研修」) に関心のある企業への広報

成果

- ✓ 研修参加者15名。うち12名が、「公私いずれかの形で地域と継続的に関わっていききたい」とアンケートに回答。
- ✓ 研修に協力した地域事業者3社は、いずれも本事業の研修を通じて、課題の解決につながる新商品・新サービスの開発に成功

- 高岡市の文化資源や高岡の制作環境の魅力をクリエイターにPR。
- クリエイター自身が高岡の魅力を発信することによって高岡市の知名度をさらに向上させる。

地域課題

- ✓ 少子高齢化・ライフスタイルの変化による地域産業の衰退

関係人口の役割

- ✓ クリエイティブな発想で高岡市の地域活性化や、「文化創造都市高岡」の実現を後押し

目標

- ✓ 高岡市の産業とクリエイターのコラボレーション
- ✓ 制作拠点として高岡市を選択するクリエイターの増加

関係人口と地域とのつながり (イメージ)

地域とつながる活動・仕組み

高岡市PRイベント  
「Creators Meet TAKAOKA」

- ✓ 渋谷で高岡市のものでづくりの魅力をPR

「高岡体験・交流ツアー」

- ✓ 高岡市の伝統産業の工房・クリエイターを支援する公的施設等を視察
- ✓ 現地の職人と交流



**高岡市**  
企画・全体管理

ツアー参加者の受入  
情報提供

**高岡伝統産業青年会**

**NPO法人  
金屋町元気プロジェクト**

**(公財) 高岡市民  
文化振興事業団**

ツアーで高岡を体験



SNS広告・チラシ配布・  
プレスリリース

【関係案内人  
(有) エピファニー  
ワークス  
イベントの企画

高岡市に関心を持つ  
クリエイティブ・クラスター

- PRイベントに334名が参加
- ツアーに12名参加
- Webサイト「文化創造都市高岡」30,000PV超



イベント・ツアーへの参加

ターゲット

- ✓ 首都圏のクリエイター層 (写真・映画、文学、デザイン、ものでづくり等)

募集の仕組み

- ✓ 美術館等へのチラシ配布
- ✓ プレスリリース
- ✓ SNS広告
- ✓ PRイベント登壇者による発信

成果

- ✓ 高岡市PRイベントへの来場者数は目標 (100名) を大きく上回る334名が来場。高岡に関心を持つクリエイターの連絡先74件を獲得
- ✓ 高岡体験・交流ツアー参加者のほとんどから「また高岡に来たい」との感想あり
- ✓ 関係人口は、SNS (Facebook) 上のグループを通じて継続的に情報共有・交換を実施

# （徳島県阿南市）SUPで繋げる「阿南愛」創出事業

- 訪日外国人と地域住民がSUP（スタンドアップパドルボード）※を通して新たなコミュニティを構築。
- 情緒豊かで美しい海を有する阿南市を「SUPタウン阿南」としてブランディングし、地域経済の活性化に繋げる！

## 地域課題

- ✓ 少子高齢化に伴う地域経済の衰退
- ✓ 市内の観光資源としてSUPの活用・産業化

## 関係人口の役割

- ✓ 「SUPタウン阿南」の魅力の発信
- ✓ 地域と協働してのマリンツーリズムの推進

## 目標

- ✓ SUPを通じた観光地の活性化・地域経済の拡大
- ✓ 「SUPタウン阿南」としてのブランディングの確立
- ✓ 地域住民の「地元愛」の拡大

## 関係人口と地域とのつながり（イメージ）

※SUP：Stand Up Paddleboard の略。  
ボードの上に立ちパドルを漕いで進むマリンスポーツ。

### 地域とつながる活動・仕組み

#### 「SUP体験会・講習会」

- ✓ 主に初心者を対象としたSUP体験会・講習会を開催

#### 「SUP体験モニターツアー」

- ✓ インフルエンサーを参加者とするSUP体験ツアーを開催
- ✓ ツアーの様子を編集して「SUPタウン阿南」PR動画を制作



### 阿南市

全体管理

### サステナブル阿南

事業運営

### 阿南SUP振興協会

各種イベント開催支援

### 美しい海でSUPを体験



### 参加者募集 (SNS広告、フライヤー配布)

### （一社）四国の右下観光局

各種イベントの企画・運営

### 地域おこし協力隊

SUPインストラクター

### 体験会・イベント・ツアー 参加

マリンスポーツに興味のある訪日外国人等

-SUP体験会・講習会  
全受講者312名（うち外国人32名）

-モニターツアー参加者15名

-PRイベント参加者20名（台北市内で実施）



### ターゲット

- ✓ マリンスポーツに興味のある訪日外国人等
- ✓ 情報発信力のある海外インフルエンサー  
※モニターツアー参加者

### 募集の仕組み

- ✓ 各種移住関連ホームページ、SNS上で情報発信
- ✓ フライヤーの配布
- ✓ 台湾のマリンスポーツ関連ショップ等におけるプロモーション

## 成果

- ✓ SUP体験会・講習会を312名が受講（うち外国人32名）
- ✓ モニターツアー参加者のうち2名がSUPを体験するために阿南市を再訪

- “菊池一族”等の地域資源をプッシュした観光ツアープランの開発と外国人観光客との継続的なつながりづくり
- 官民連携による関係人口創出・拡大の取り組みが、外国人観光客のみならず、地域内のネットワークを強くする！

地域課題

- ✓ “菊池一族”等、地域資源を活かした観光コンテンツ開発
- ✓ 外国人観光客ニーズに対する対応力強化

関係人口の役割

- ✓ 地域の魅力や関連情報の継続的な発信
- ✓ 菊池市への継続的な訪問

目標

- ✓ 外国人観光客との継続的なネットワーク構築
- ✓ 行政と市内関係団体との連携・協働体制整備

関係人口と地域とのつながり（イメージ）

地域とつながる活動・仕組み

「菊池一族SAMURAI体験ツアー」

- ✓ 地域への理解・愛着醸成のための地域資源学習・体験（菊池一族歴史講座、座禅体験等）、住民との交流（農家民泊等）
- ✓ 今後の情報発信に向けたPR動画撮影

「九州SAMURAI伝道師」

- ✓ 地域と継続的なつながりを持って魅力を発信するエバンジェリスト「九州SAMURAI伝道師」登録制度
- ✓ 主なターゲット：  
SAMURAI体験ツアーに参加した在日外国人



菊池市  
菊池一族プロジェクト  
チーム

全体企画・調査・管理

菊池武光公生誕  
700周年プロジェクト  
実行委員会

プログラム企画・運営

居合体験



参加者募集  
（既存ネットワーク活用）

（株）ヒストリーデザイン

- ・参加候補団体紹介
- ・菊池一族資源化調査

菊池ふるさと体験協議会

- ・ネットワークを活用した参加者募集

ツアー参加、九州  
SAMURAI伝道師登録

日本の歴史文化、  
サブカルチャーファン  
の外国人

7つの国・地域より、  
のべ21名がツアーに  
参加



ターゲット

- ✓ 日本の歴史文化
- ✓ 日本のアニメ、マンガ等サブカルチャー  
に興味・関心を持つ外国人

募集の仕組み

- ✓ 再委託先（株）ヒストリーデザインを通じた、日本文化に関心の高い台湾人学生団体へツアー参加の声掛け
- ✓ 菊池ふるさと体験協議会のネットワークを活用した、菊池市近隣在住の外国人留学生へツアー参加の声掛け

成果

- ✓ 菊池一族SAMURAI体験ツアーに参加した21名のうち10名が九州SAMURAI伝道師に登録。
- ✓ 市内民間団体で構成する「菊池武光公生誕700周年プロジェクト実行委員会」と行政が連携して事業を推進。従来の行政主導の取組から、地域全体での取組へと変化。